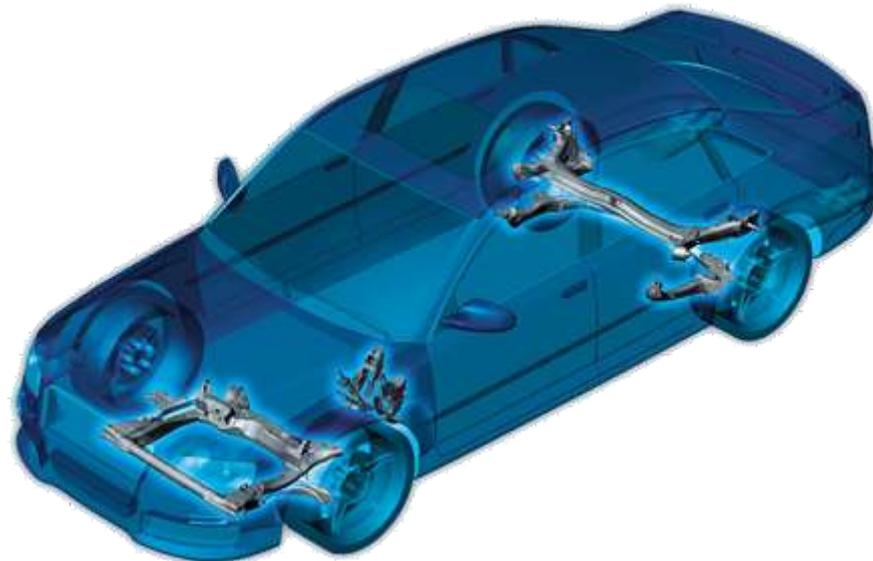


2018年3月期決算説明会

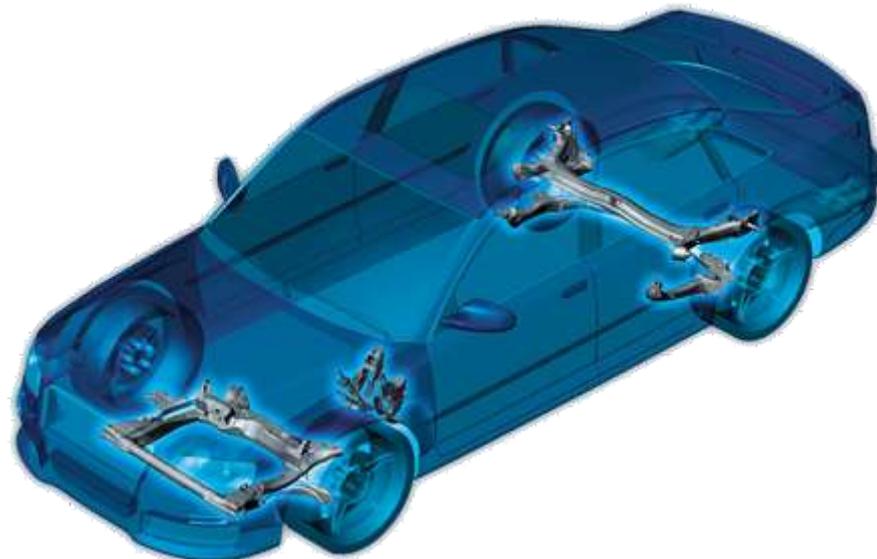
2018年5月10日
株式会社エフテック
東証1部:7212
<http://www.ftech.co.jp>

1. 決算概要
2. 業績予想
3. 経営戦略
4. トピックス



代表取締役社長
福田 祐一

1. 決算概要
2. 業績予想
3. 経営戦略
4. トピックス



代表取締役社長
福田 祐一

連結決算概要(前年同期比)

(単位:百万円)

	2017年3月期 実績		2018年3月期 実績		増減	
	金額	対前年比	金額	対前年比	金額	対前年比
売上高	197,941	100.0%	226,060	100.0%	28,118	14.2%
営業利益	8,035	4.1%	6,856	3.0%	▲1,179	▲14.7%
経常利益	7,214	3.6%	5,924	2.6%	▲1,289	▲17.9%
親会社株主に帰属する当期純利益	4,035	2.0%	4,708	2.1%	673	16.7%
1株利益(円)	261.01	—	262.98	—	1.97	0.8%

為替 転換済み社債1,650百万円

社債全額面繰上償還済(H29.9.12)

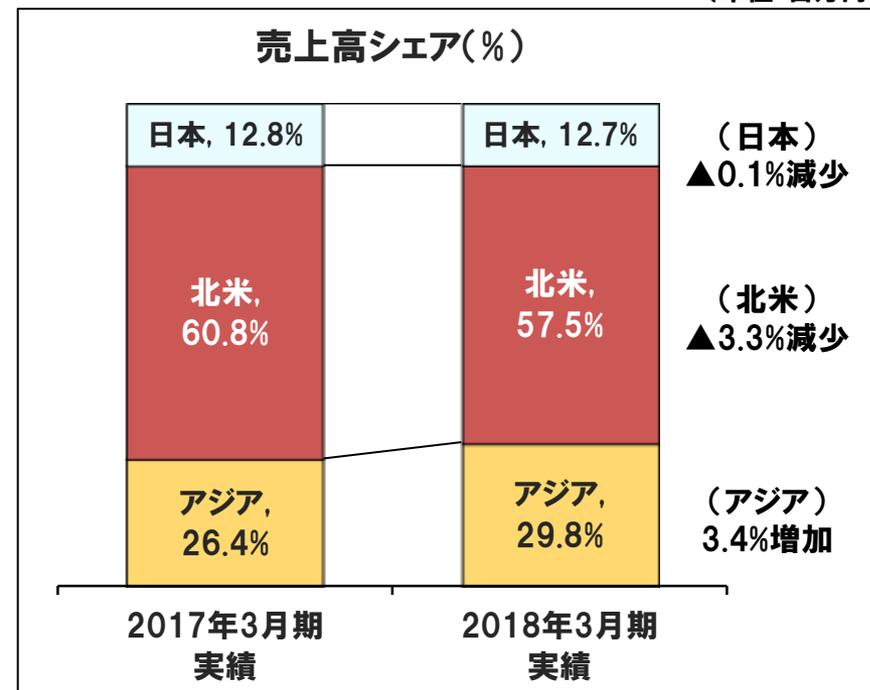
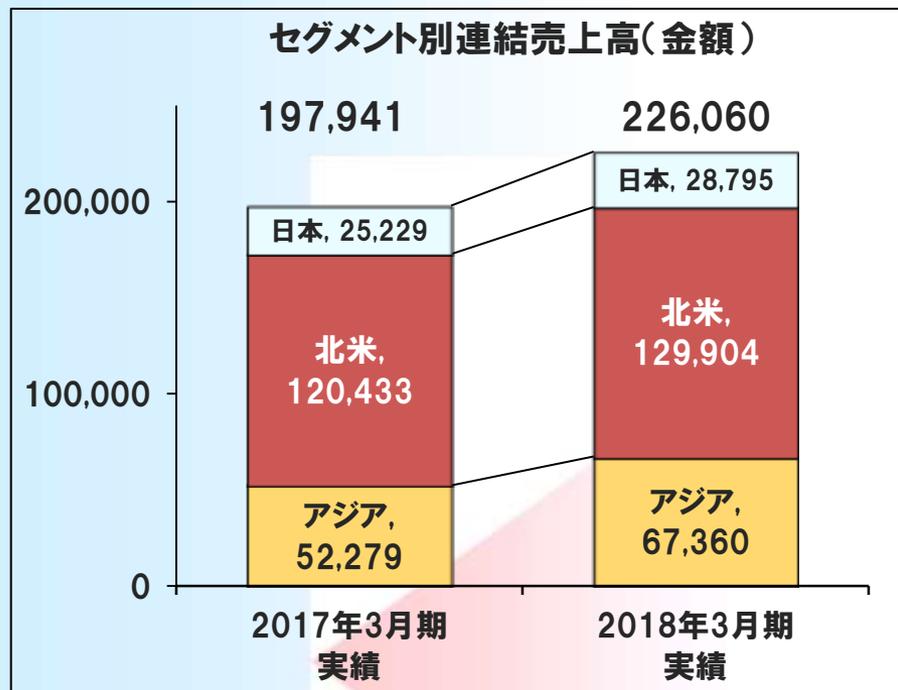
為替

	2017年3月期	2018年3月期	増減額
1US\$	108.71円	110.71円	2.00円
1CAN\$	82.60円	86.41円	3.81円
1人民元	16.41円	16.63円	0.22円

増収減益(売上増も加の高収益部品終了、及び米での生産性低下を主因に減益)

連結売上高(前年同期比)

(単位:百万円)



連結売上高増減

	'17年3月期	'18年3月期	増減	増減率	為替影響	実質増減	増減率
日本	25,229	28,795	3,566	14.1%	—	3,566	14.1%
北米	120,433	129,904	9,471	7.9%	4,349	5,121	4.3%
アジア	52,279	67,360	15,081	28.8%	1,693	13,387	25.6%
連結	197,941	226,060	28,118	14.2%	6,043	22,075	11.2%

連結売上上の87.3%が海外拠点。全セグメントで増収、特にアジアは中国・タイの影響

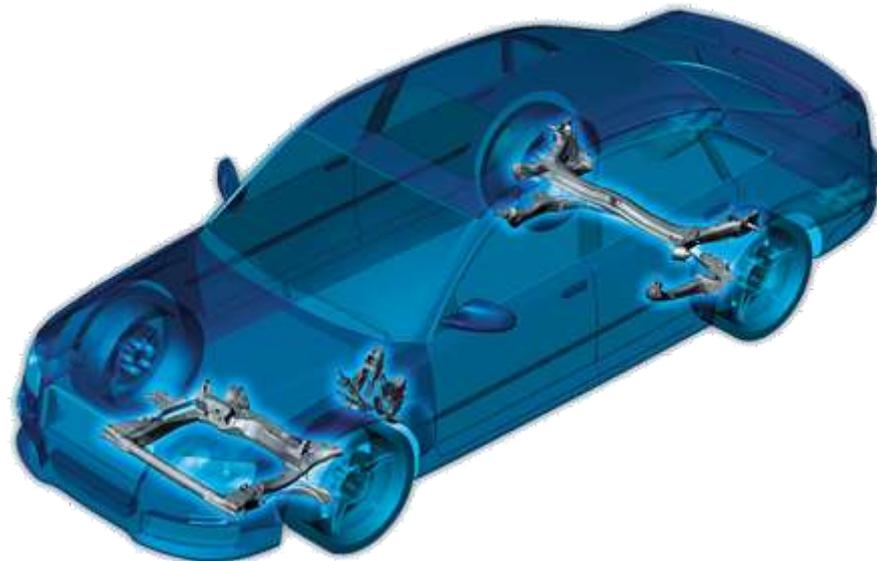
セグメント別営業利益(前年同期比)

(単位:百万円)

	金額			
	2017年 3月期 実績	2018年 3月期 実績	増減	増減率
日本	958	1,744	786	82.0%
北米	2,928	▲1,878	▲4,806	▲164.2%
アジア	3,868	6,684	2,815	72.8%
合計	7,754	6,549	▲1,204	▲15.5%
調整	281	306	25	8.9%
連結	8,035	6,856	▲1,179	▲14.7%

シェア		
2017年 3月期 実績	2018年 3月期 実績	増減
11.9%	25.4%	13.5%
36.4%	▲27.4%	▲63.8%
48.1%	97.5%	49.3%
96.5%	95.5%	▲1.0%
3.5%	4.5%	1.0%
100.0%	100.0%	-

1. 決算概要
2. 業績予想
3. 経営戦略
4. トピックス



代表取締役社長
福田 祐一

連結業績予想(2019年3月期予想)

(単位:百万円)

	2018年3月期 実績		2019年3月期 予想		増減	
売上高	226,060	100.0%	226,000	100.0%	▲60	▲0.0%
営業利益	6,856	3.0%	7,500	3.3%	643	9.4%
経常利益	5,924	2.6%	6,600	2.9%	675	11.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,708	2.1%	4,000	1.8%	▲709	▲15.1%
1株利益(円)	262.98	—	214.15	—	▲48.83	▲18.6%

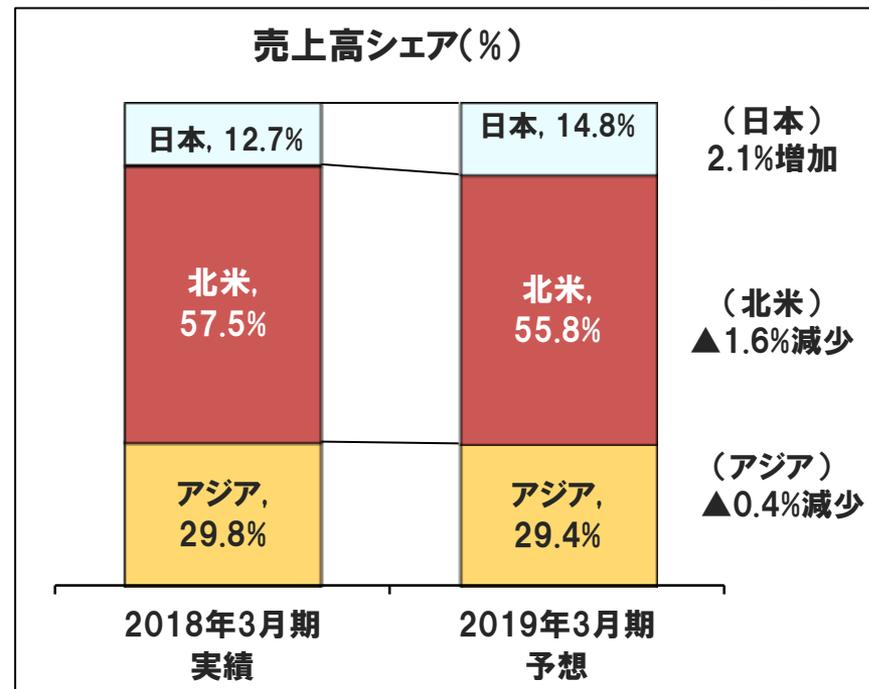
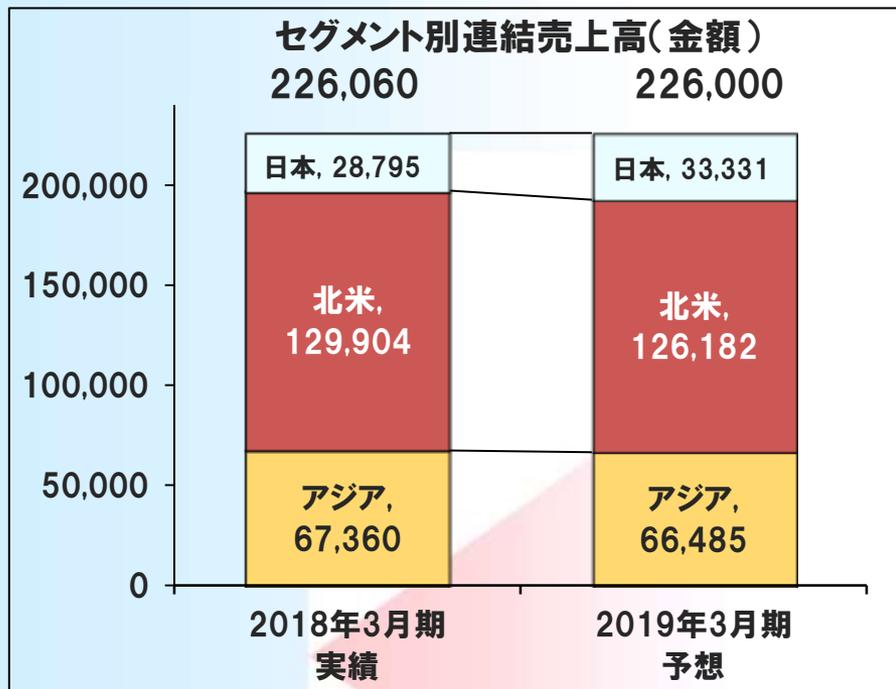
為替

	2018年3月期	2019年3月期	増減額
1US\$	110.71円	105.00円	▲5.71円
1CAN\$	86.41円	81.00円	▲5.41円
1人民元	16.63円	16.60円	▲0.03円

新規受注の売上効果で為替影響を最小化

連結売上高(2019年3月期予想)

(単位:百万円)



連結売上高増減

	'18年3月期	'19年3月期	増減	増減率	為替影響	実質増減	増減率
日本	28,795	33,331	4,536	15.8%	—	4,536	15.8%
北米	129,904	126,182	▲3,722	▲2.9%	▲7,691	3,969	3.1%
アジア	67,360	66,485	▲874	▲1.3%	▲695	▲180	▲0.3%
連結	226,060	226,000	▲60	▲0.0%	▲8,386	8,325	3.7%

為替影響を除くと実質増収、日本・北米が増加。海外シェアは85.2%

セグメント別営業利益(前年同期比)

(単位:百万円)

	金額			
	2018年 3月期 実績	2019年 3月期 予想	増減	増減率
日本	1,744	332	▲1,411	▲80.9%
北米	▲1,878	1,723	3,602	-
アジア	6,684	5,955	▲728	▲10.9%
合計	6,549	8,012	1,462	22.3%
調整	306	▲512	▲818	▲266.9%
連結	6,856	7,500	643	9.4%

シェア		
2018年 3月期 実績	2019年 3月期 予想	増減
25.4%	4.4%	▲21.0%
▲27.4%	23.0%	-
97.5%	79.4%	▲18.1%
95.5%	106.8%	11.3%
4.5%	▲6.8%	▲11.3%
100.0%	100.0%	-

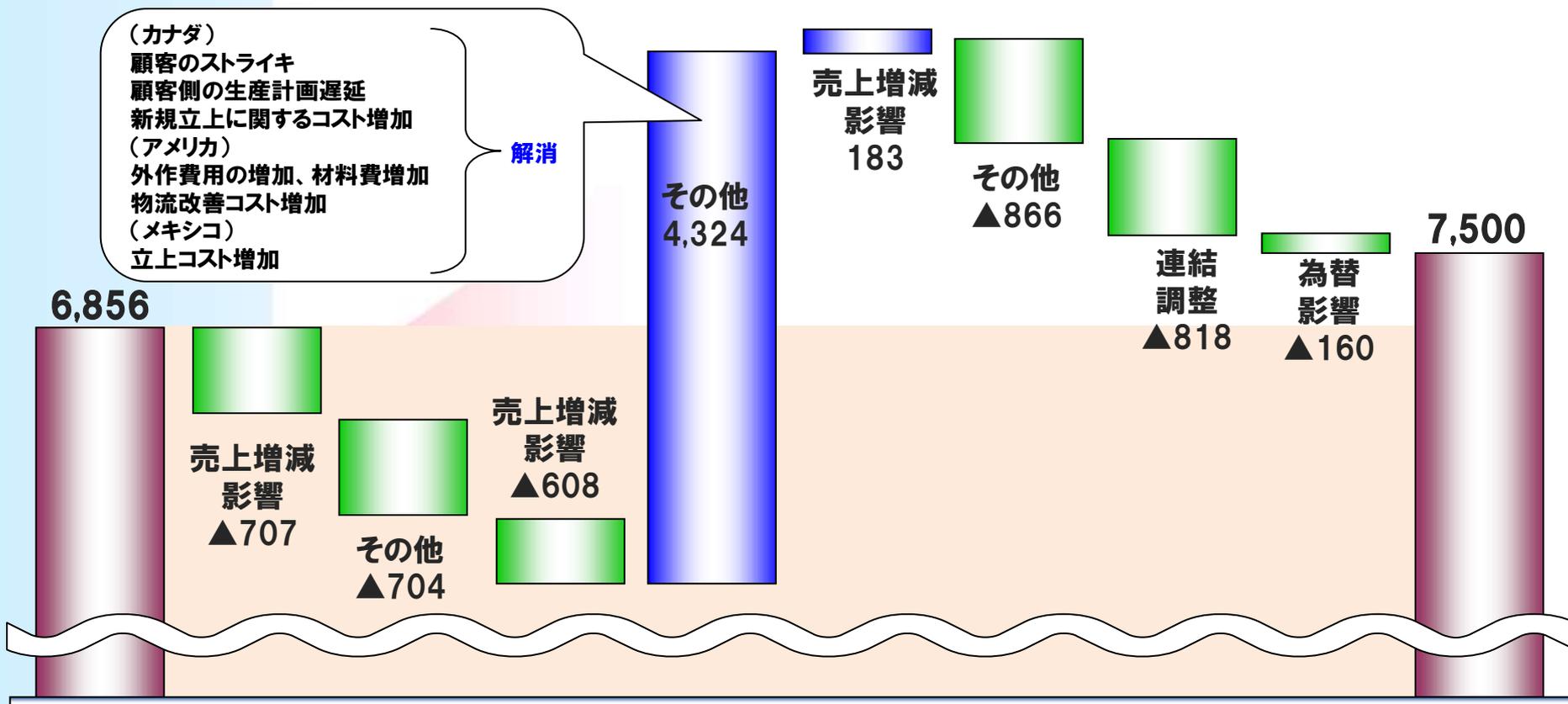
営業利益増減要因

減益 増益

日本 北米 アジア

(カナダ)
顧客のストライキ
顧客側の生産計画遅延
新規立上に関するコスト増加
(アメリカ)
外作費用の増加、材料費増加
物流改善コスト増加
(メキシコ)
立上コスト増加

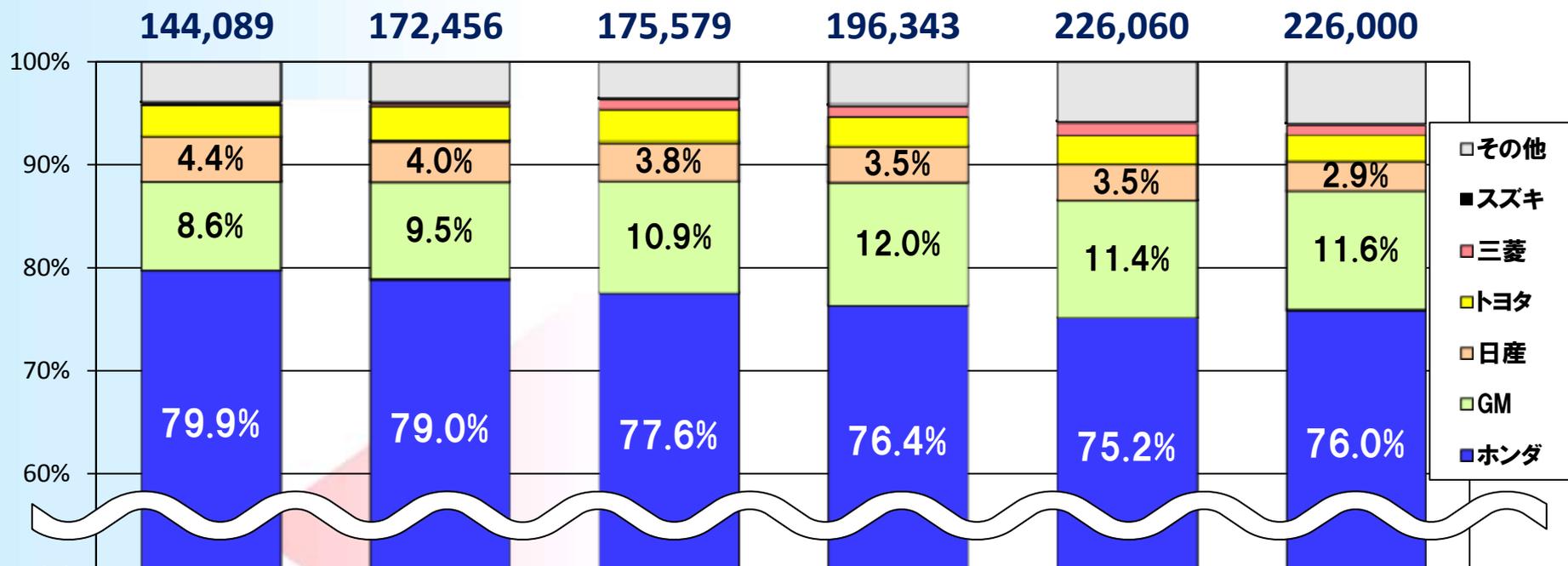
解消



2018年3月期
実績

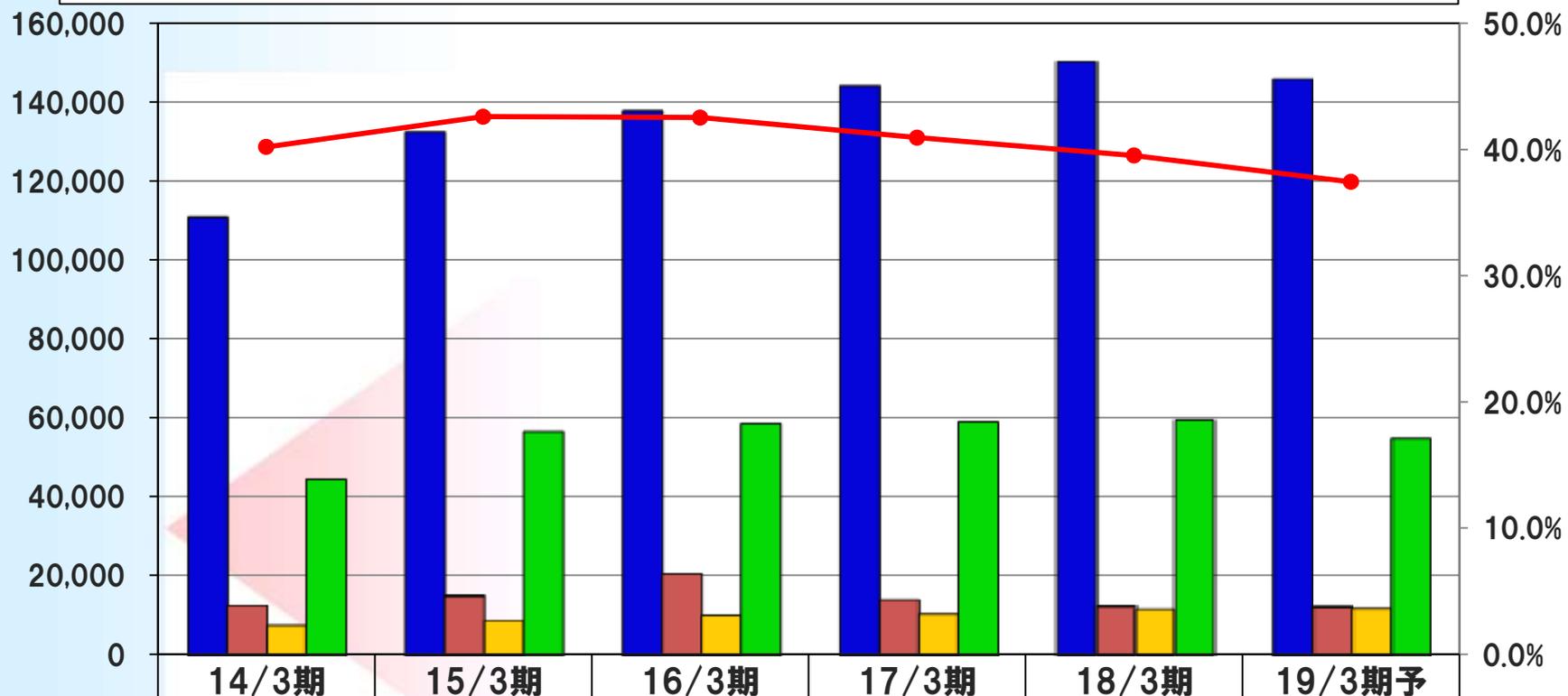
2019年3月期
業績予想

得意先別売上高の推移



	14/3期	15/3期	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期計画
ホンダ	137,708	138,635	152,435	151,282	170,089	171,715
GM	14,880	16,622	21,345	23,683	25,782	26,285
日産	7,536	7,024	7,435	6,985	7,957	6,606
トヨタ	5,209	5,875	6,204	5,658	6,428	5,766
三菱	370	526	1,803	2,036	2,648	2,121
スズキ	127	135	321	197	269	235
その他	6,626	6,762	6,800	8,101	12,888	13,272
	172,456	175,579	196,343	197,941	226,060	226,000

■ 総資産 ■ 設備投資 ■ 減価償却費 ■ 有利子負債 ● 有利子負債依存度



	14/3期	15/3期	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期予
総資産	111,062	132,697	137,980	144,420	150,525	146,144
設備投資	12,715	14,987	20,578	14,094	12,435	12,233
減価償却費	7,508	8,920	10,081	10,335	11,666	11,867
有利子負債	44,679	56,570	58,686	59,129	59,510	54,714
有利子負債依存度	40.2%	42.6%	42.5%	40.9%	39.5%	37.4%

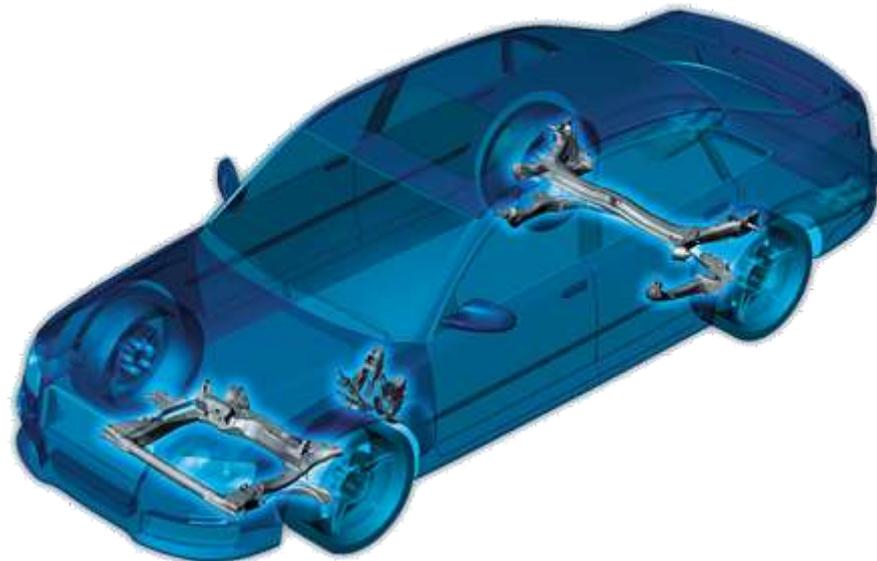
2019年3月期予定

	1Q末	2Q末	3Q末	4Q期末	合計	配当性向
2019年3月期 配当予定	—	10円00銭	—	10円00銭	20円00銭	9.3%
(ご参考)2018年3月期 ※株主総会決議事項	—	10円00銭	—	10円00銭	20円00銭	7.6%
前期比 増減	—	—	—	—	—	1.3%

配当方針

当社の利益配分に関する基本方針は、業績に基づく利益還元を基本としています。財務体質の強化を図りながら利益の状況、将来の事業展開など長期的な視野に立って皆様への利益還元を図ってまいります。配当性向の当面の目途を親会社株主に帰属する当期純利益の10%以上とし、中間、期末の年2回を基本としております。

1. 決算概要
2. 業績予想
3. 経営戦略
4. トピックス



代表取締役社長
福田 祐一

会社方針 Back to Basics, Challenge for New

2017/3月期

2018/3月期

2019/3月期

2020/3月期

実績

連結売上高 -----
1,979 億円

営業利益率 -----
4.1%

有利子負債依存度 -----
40.9%

健全なる財務体質
高収益企業の実現

目標

連結売上高 -----
2,120 億円

営業利益率 -----
5.0%

有利子負債依存度 -----
35.0%

Back to Basics

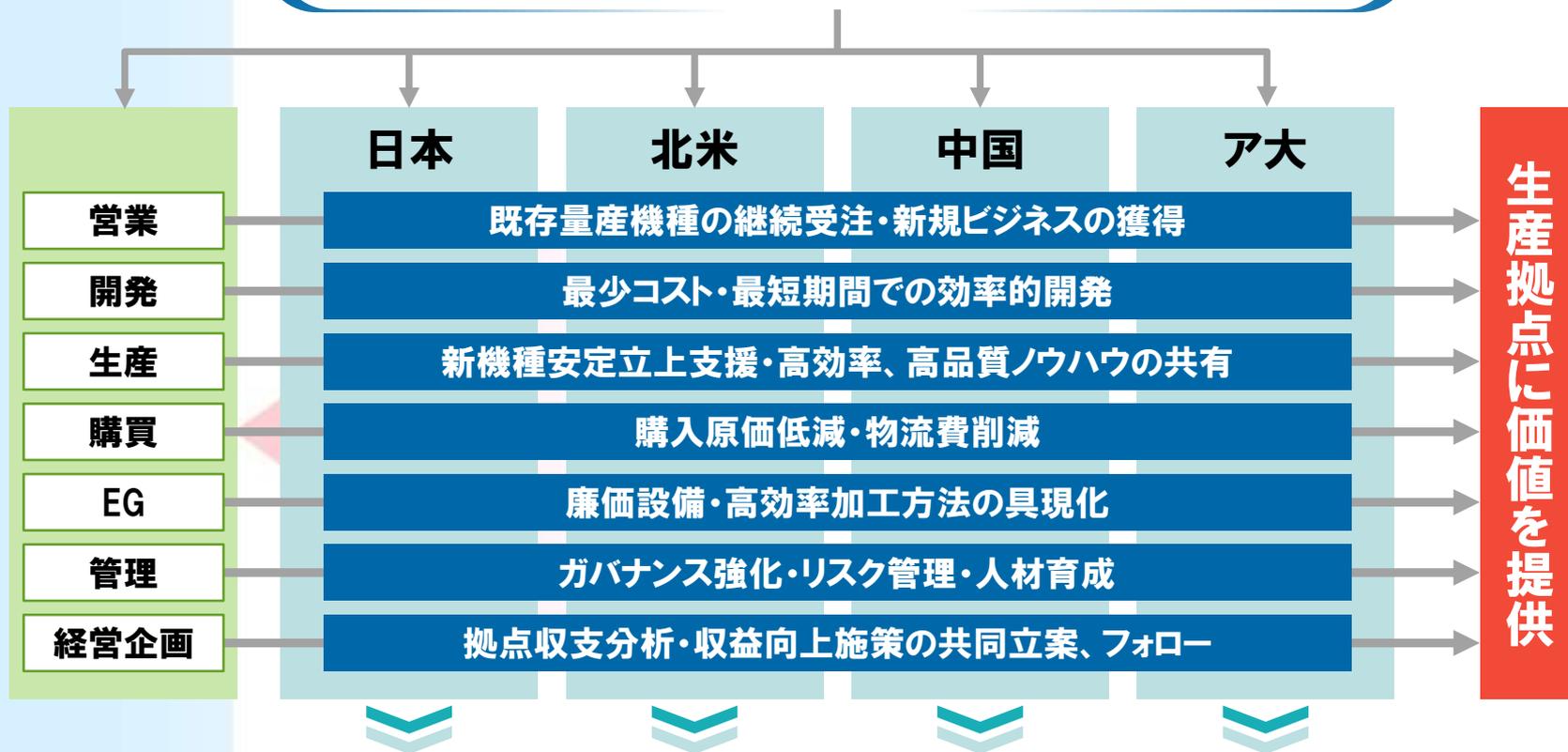
- お客様に最高の価値を提供する
- 生産拠点は、利益を最大化する
- 機能組織は、コストの最小化と生産拠点へ価値を提供する
- 健全な財務体質を構築する

Challenge for New

- 新規重要顧客を獲得、拡大する
- 画期的新製品を提案する
- 新技術・新加工方法を確立する
- 新規事業の企画・推進

日本からの発信力アップ

Back to Basics, Challenge for New



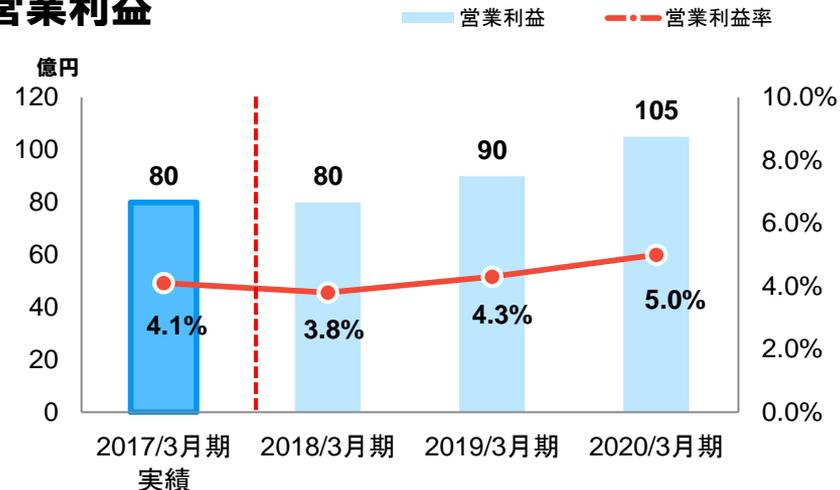
生産拠点はプロフィットセンターとして中期目標を必達

中期3力年経営計画 ~経営目標~

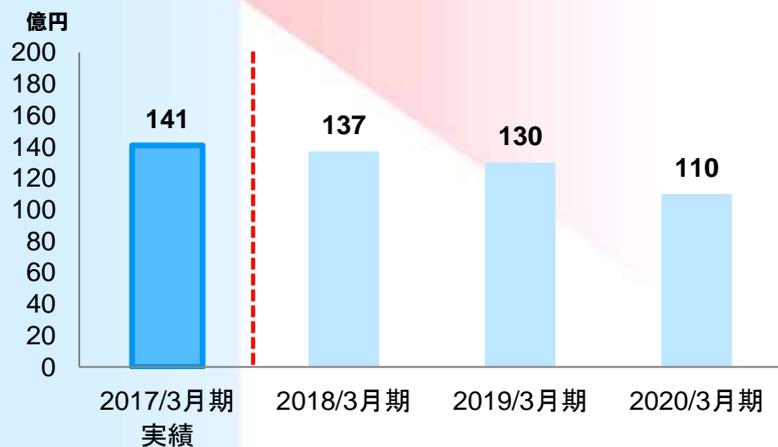
売上高



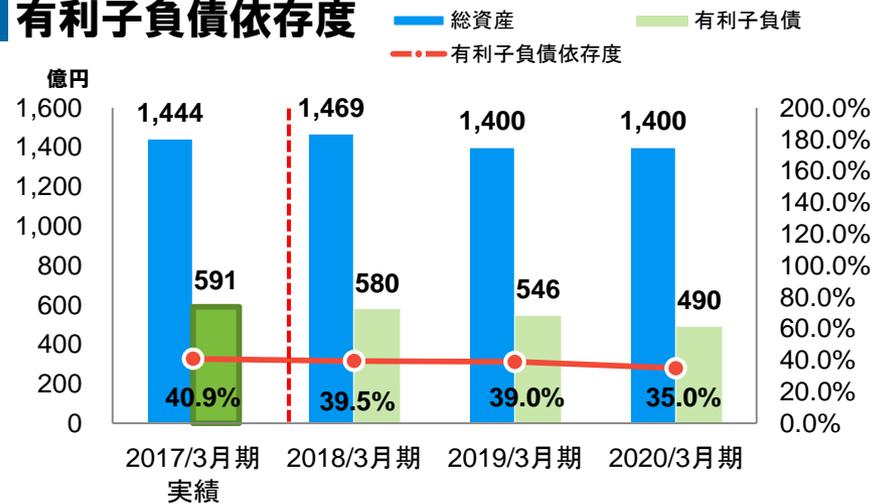
営業利益



投資計画



有利子負債依存度



中期経営計画初年度計画対実績

(億円)

	中期経営計画	2017年度実績	差異
売上高	2,090	2,260	+170
営業利益	80	68	▲12
投資計画	137	124	▲13
有利子負債額	580	595	+15
有利子負債依存度	39.5%	39.5%	0%

売上高、投資計画、有利子負債依存度は計画達成
営業利益、有利子負債額は計画未達成となった

中期経営計画初年度計画対実績

(億円)

	中期経営計画	2017年度実績	差異
営業利益	80	68	▲12

北米地域が営業損失▲18億円
となったことが主因

- ・前期比 ▲48億円
- ・当初計画比▲36億円

北米地域の立て直しが
急務

	中期経営計画	2017年度実績	差異
有利子負債額	580	595	+15

バイアップ資金入金時期が翌期へ
(北米地域15百万ドル)

2018年度での回収で
有利子負債残高減少

内外環境

発生事象

北米拠点の問題

受注の急増

新機種立上重複

雇用環境逼迫

外注の増加

労働時間増加
退職者の急増

雇用難

労務コスト上昇
熟練者枯渇



コストアップ
労務費・外注費+付随

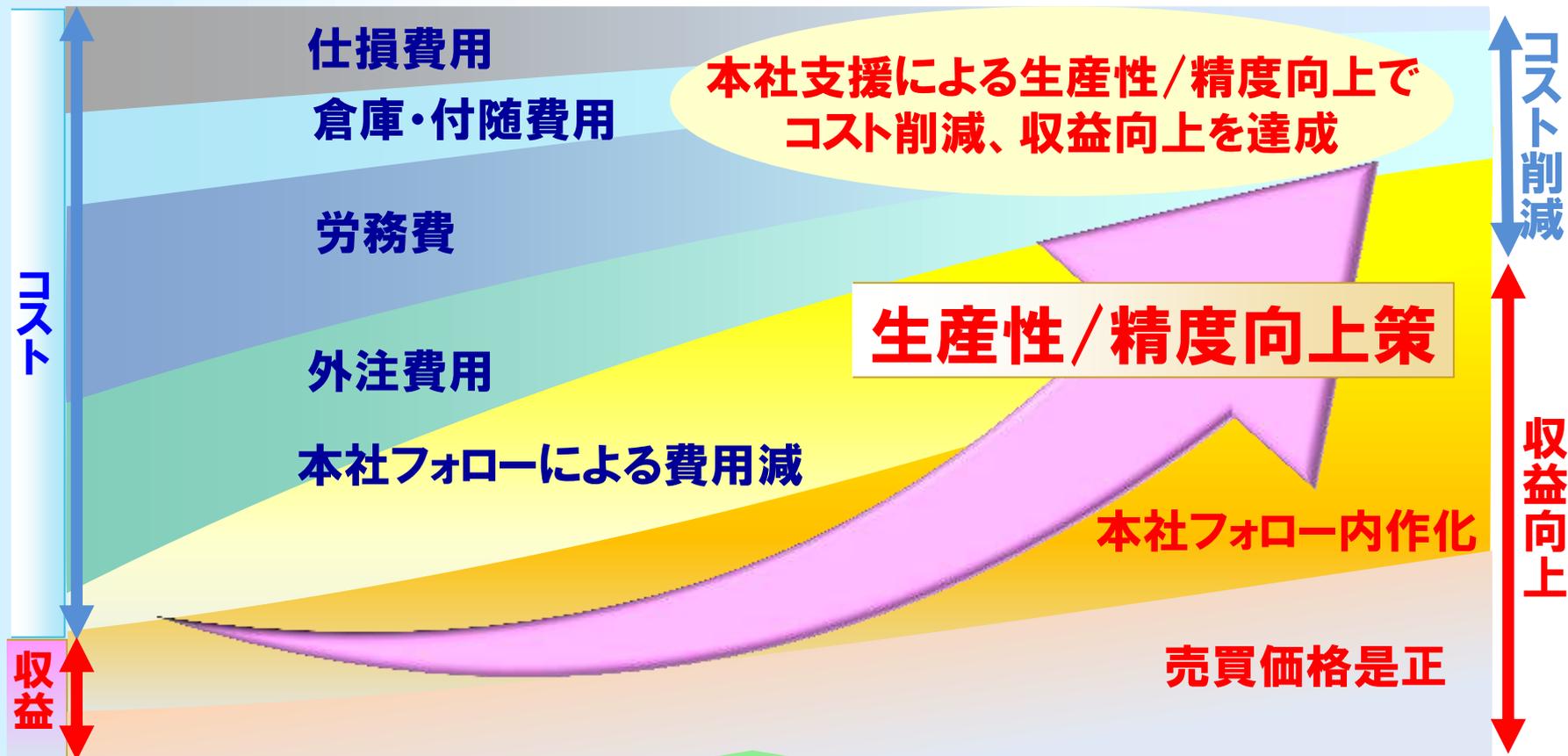
ロスの増加
仕損/追加検査の発生

生産効率低下
更なる外注の発生

収支の悪化

本社・拠点一体での改善策の展開

北米地域の状況～改善への取り組み～



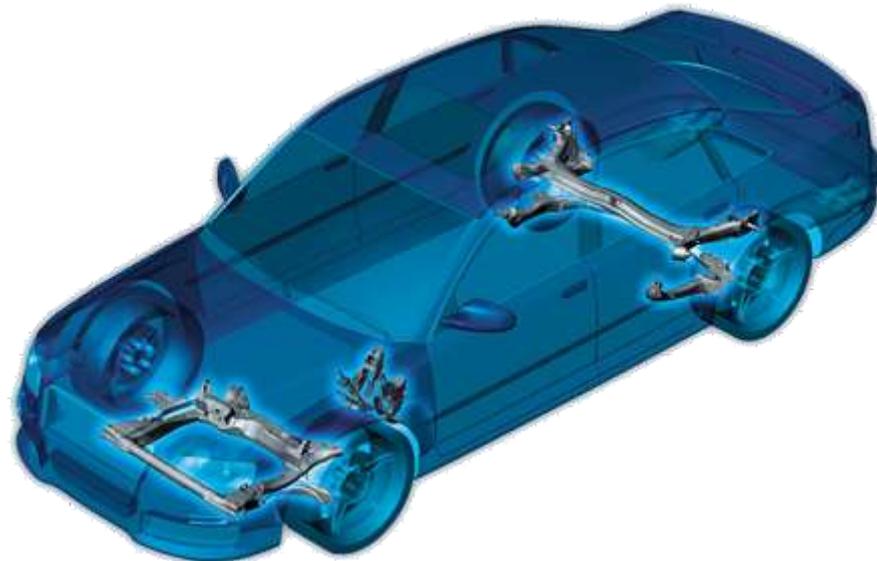
本社支援策

人材の派遣
生産技術→生産性向上

計画進捗管理
改善計画/収支計画

付加価値アップ
本社フォロー(費用減、内作)

1. 決算概要
2. 業績予想
3. 経営戦略
4. **トピックス**



**代表取締役社長
福田 祐一**

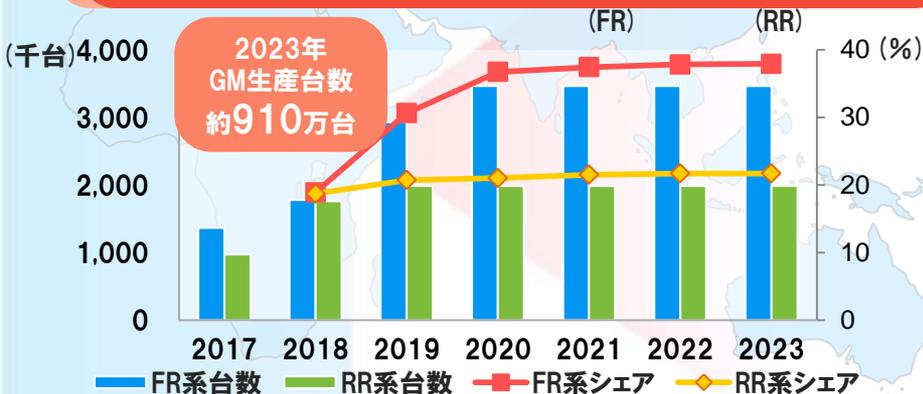
Honda

全グローバル車種 部品供給率 100%
軽量化と強度・剛性を両立し、高い信頼性を獲得。

外資系メーカー

GM サスペンション/マウント部品供給

2018年 世界生産シェア 18.9%/18.7%

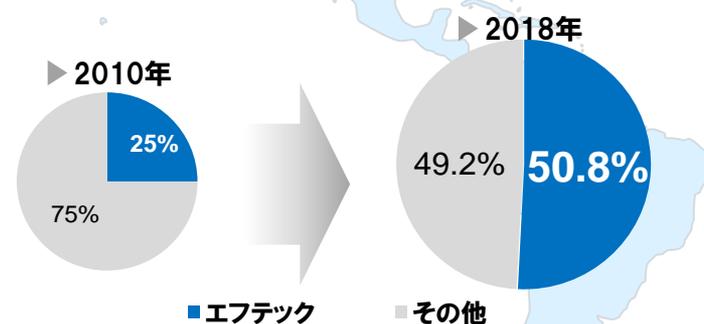


サスペンション/マウント部品中心
 ~新規顧客からも新規受注/生産開始~

日系メーカー

日産 コントロール部品供給

2018年 世界生産シェア 50.8% 獲得



コントロール部品中心
 ~三菱、スズキからも受注~

得意先のニーズに的確に応える事で
国内外のOEMメーカーから継続/新規受注獲得

受注状況 ~2018年3月期生産開始新機種~

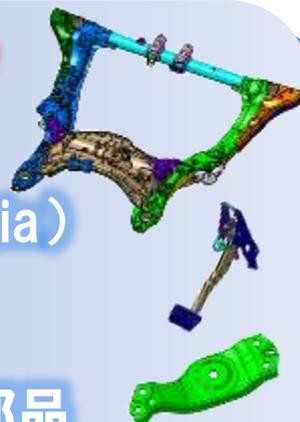
地域	得意先	1Q	2Q	3Q	4Q		
日本	HONDA		N-BOX 亀山 ⇒日本	CIVIC 久喜 ⇒日本			
	OTHER		LEAF 九州エフテック ⇒日本				
北米	HONDA	Odyssey FPG ⇒北米		Accord FPA ⇒北米			
	OTHER	Equinox / Terrain FPMX ⇒北米	Traverse / Enclave Dyna-Mig ⇒北米	LEAF FPG ⇒北米	新規 T Dyna-Mig ⇒北米	CAMRY Dyna-Mig ⇒北米	ALTIMA FPG ⇒北米
中国	HONDA	CITY FTZ ⇒中国	CR-V FTW ⇒中国	ACURA TLX FTZ ⇒中国	Accord FTZ ⇒中国		
	OTHER	KICKS FTZ ⇒中国			BUICK FTW ⇒中国		
ア 大	HONDA						
	OTHER	新規F FMTL ⇒タイ		SWIFT VG ⇒インド	MIRAGE FPMI ⇒比国		

【見方】
機種名
 生産拠点
 ⇒納入先

受注状況 ~主要得意先からの主な新機種受注~

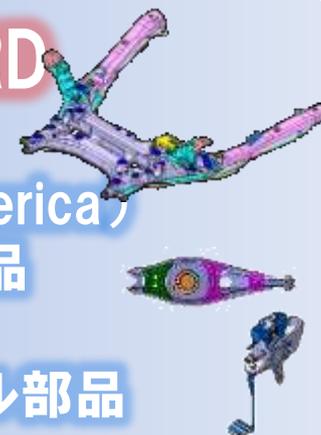
Odyssey

量産:2017年4月
生産:アメリカ(F&P Georgia)
受注:サスペンション部品
マウント部品
ペダルコントロール部品



ACCORD

量産:2017年9月
生産:アメリカ(F&P America)
受注:サスペンション部品
マウント部品
ペダルコントロール部品



N-BOX

量産:2017年7月
生産:日本(亀山)
受注:サスペンション部品
マウント部品
ペダルコントロール部品



CIVIC

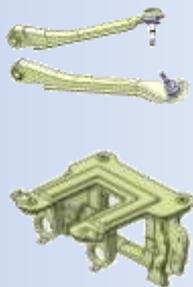
量産:2017年9月
生産:日本(久喜)
受注:サスペンション部品
マウント部品
ペダルコントロール部品



主要得意先のニーズに的確に応え主要部品を受注し量産開始

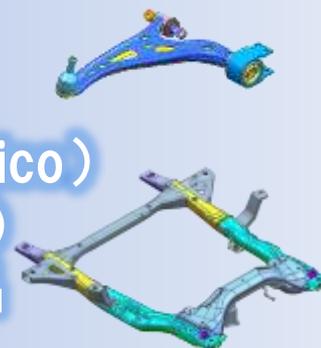
新規顧客

量産:2017年4月
生産:タイ(FMTL),
受注:サスペンション部品
マウント部品



GM

量産:2017年4月、5月
生産:メキシコ(F&P Mexico)
カナダ(Dyna-Mig)
受注:サスペンション部品
マウント部品



新規顧客

量産:2017年7月
生産:カナダ(Dyna-Mig)
受注:サスペンション部品
マウント部品



新規顧客

量産:2018年2月
生産:カナダ(Dyna-Mig)
受注:マウント部品

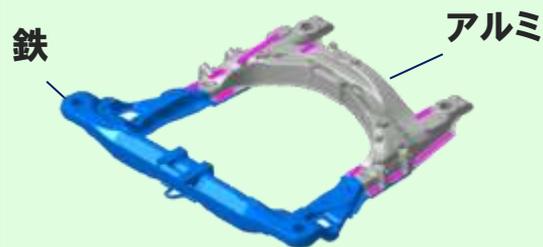


積極的な拡販活動で受注した新機種向け部品の量産開始

FSW 接合

鉄+アルミ

鉄とアルミ (DC) をFSW接合技術で**世界初量産化**



アルミ+アルミ

AL板材(展伸材)・AL (押し出し材) をFSW(歪が少ない最適接合)



新たな接合技術への取組

カーボン・AL・樹脂



他部品への技術転用

異材接合技術を確立し、更なる軽量化技術をSUBFRAME他部品に技術転用

当社が発行した「2020年満期円貨建て転換社債型新株予約権付社債(以下CB)」については、2017年9月12日に全額株式に転換され自己資本が増加しました。

※2017年8月17日コールオプション行使

項目	2017年3月末	2018年3月末	差
CB残高	2,350百万円	0	△2,350百万円
発行済株式数	16,760,425株	18,712,244株	+1,951,819株
資本金	5,615百万円	6,790百万円	+1,175百万円
資本剰余金	6,155百万円	7,330百万円	+1,175百万円

<参考>

CB発行条件

発行日	2015年3月20日
当初の償還期限	2020年3月23日
発行総額	40億円
転換価格	1,204円

CB発行時(2015年3月)の状況

発行済株式数	15,390,000株
資本金	4,790百万円
資本剰余金	5,228百万円

～人と車のテクノロジー展参加～

日時:2017年6月28～30日

場所:ポートメッセ名古屋

来場者数:39,810人

ブース出展、

軽量PEDAL・アルミ技術の展示説明

雑誌Motor Fanに掲載

最も印象に残った出展企業
ベスト20選出



～第8回クルマの軽量化技術展～

日時:2018年1月17日～19日

場所:東京ビッグサイト

来場者数:39,922人

日本最大の
軽量化技術展



OEMメーカーに当社の開発技術力を積極的にPR

日経IRフェア2017出展

2017年

8月25日、26日

- 場所：東京ビックサイト
- 来場者数：17,346人
- 会社説明会、ブース出展



多くの個人投資家にご説明実施



個人投資家向け会社説明会

2017年

7月6日、12月5日

- 場所：埼玉県大宮/久喜市総合文化会館
- 人数：各120名程



活発な質疑応答

当社の本社所在地で初のIR



2018年

1月26日

- 場所：エフテック本社/久喜事業所
- 内容：工場見学会
- 人数：19名



地域の方々と交流

理解度、認知度向上へ



個人株主拡大に向け積極的なIR活動展開

■前年度各種表彰を受けての取り組み

- 新聞にEnMSの記事掲載
- 得意先HP上で特集
- 省エネ大賞受賞による
講演/訪問依頼が殺到
- インドから各種産業団体様が来訪



亀山から世界へ

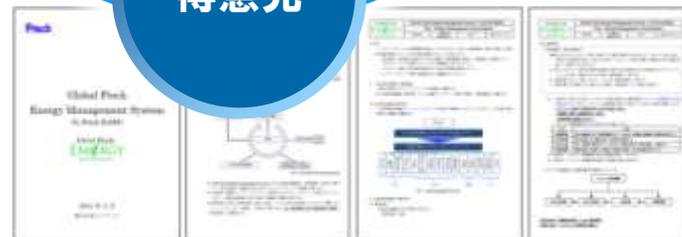


【参考】

2016年6月: Energy Management Insight Award

2017年1月: 省エネ大賞 省エネ事例部門
省エネルギーセンター会長賞受賞

2017年1月: Honda優良感謝賞(環境)
Hondaグリーン大会 グローバル大会 優秀賞
日本地域大会 優秀賞



企業の森づくり

従業員の環境教育・
環境保全意識の向上



「埼玉県森づくりサポーター」として企業の
森づくりを通じて環境保全や社会貢献に尽力

奨学財団

2017年4月より公益財団
エフテック奨学財団の奨学活動開始

首都圏の大学32校の41名の学生に
対し奨学金給付を開始



奨学金給付を通じ世界で
活躍できる人材の育成支援

ご清聴ありがとうございました



本資料で記述している将来予測及び業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により実際の業績と記述としている将来見通しは、大きく異なる可能性があることを御承知おき下さい。

IR情報のお問い合わせ、取材申し込みは

株式会社エフテック 管理本部 総務ブロック/経理ブロック

代表TEL 0480-85-5211

Mail webmaster@ftech.co.jp